

IV 平成 16 年度の決算見込みを家庭の家計簿に例えると。

いしかわ家の家計簿

支 出	収 入
生活費 163 万円 (県の職員、学校の先生、警察官などの給料)	給料 382 万円 (県税、地方交付税、国からの補助金など)
家の増改築費 158 万円 (道路、公園整備などのハード事業に要する経費)	その他収入 65 万円 (使用料及び手数料など)
教育費 138 万円 (教育、福祉などのソフト事業に要する経費)	預貯金の引出 17 万円 (基金の取り崩しなど)
ローン返済 91 万円 (県債の返済 うち60万円が地方交付税などにより補てんされました。)	ローン借入 92 万円 (県債の発行 うち54万円が地方交付税などにより補てんされます。)
合計 550 万円 翌年度の支出 5 万円 再計 555 万円	合計 556 万円

前ページの平成 16 年度一般会計決算見込みを、わかりやすく、より身近なものとしていただくために、10 万分の 1 の金額 (例えば 5,500 億円 550 万円) にして家庭の家計簿に例えて作成してみました。

この結果、平成 16 年度のいしかわ家は年収 556 万円に対して、支出額が 550 万円になる見込みです。年収から支出を引くと 6 万円の黒字となりますが、そのうち、翌年度の支出にまわす金額を除くと、実際は 1 万円の黒字になる見込みです。

なお、ローンの借入と返済はほぼ同額ですが、預貯金の引出 17 万円を含めて、1 万円の黒字であることに留意する必要があります。

これからも健全な家計維持に努め、家族の夢の実現に向け取り組んでいきます。

ふるさといしかわ債

県民参加型ミニ公募債を発行しました!!

さる3月30日に県民参加型ミニ公募債「第3回ふるさといしかわ債」を発行しました。

「ふるさといしかわ債」は、県債がどのような事業の財源に使われているかを明確にした上で、県民の皆様に購入いただくことにより、県政への関心を高め、積極的な参加を促すとともに資金調達が多様化を図ることを目的としています。

第3回は、前2回と同様、いしかわの未来を担う子供たちの教育の場であり、県民の皆様にも身近な施設である県立学校の整備を対象とし、これまでの2倍の20億円（1口10万円で1人10口まで）を発行しました。年利0.70%（5年満期一括償還）と国債よりも有利な条件であることもあって、おかげさまで即日完売となりました。

今後も発行していく予定ですので、その際には「ふるさといしかわ債」の購入を通じて郷土いしかわのふるさとづくりに積極的にご参加ください。

